

産業建設委員会

令和 8 年 6 月 30 日 (火)
10 時 00 分 ~ 時 分
全 員 協 議 会 室

【委員】村木委員長、西田一平副委員長、
今田委員、大谷委員、川上委員、小川委員、笹田委員

【議長・委員外議員】

【執行部】江角副市長

(産業経済部) 西川産業経済部長、久佐産業経済部参事、板本商工労働課長、
力石浜田駅周辺活性化推進室長、佐々木ふるさと寄附推進室長、
岡田農林振興課長、永見水産振興課長、山本観光交流課長
(都市建設部) 倉本都市建設部長、松井建設企画課長、藤下維持管理課長
佐古建築住宅課長

(金城支所) 市原金城支所長、河内産業建設課長

【事務局】村山書記

議題

1 請願審査

- (1) 請願第 103 号 「道の駅 ゆうひパーク浜田」の整備運営および指定管理に関する請願について
- (2) 請願第 104 号 道の駅「ゆうひパーク浜田」の次期整備運営事業者選定の白紙撤回及び再公募を求める請願について
- (3) 請願第 105 号 浜田駅前(三つ桜跡地等)の有効活用とランドデザイン策定に関する請願について
- (4) 請願第 106 号 基幹産業の持続と若手担い手育成、深刻な鳥獣被害対策に関する請願について(請願事項 1, 2 産業建設委員会付託分)
- (5) 請願第 107 号 自己破産した農業用ハウス(TC 浜田跡地)および未活用財産の有効活用に関する請願について(請願事項 1 産業建設委員会付託分)
- (6) 請願第 108 号 浜田漁港地域の排水処理について調査と説明等を求める請願について
- (7) 請願第 109 号 JF(漁協)関連施設等への公金投入と公平性の見直しに関する請願について
- (8) 請願第 110 号 生活インフラの安全確保と維持管理の負担軽減に関する請願について(請願事項 2 産業建設委員会付託分)

2 議案第 44 号 財産の無償貸付について(「道の駅」ゆうひパーク浜田)

3 議案第 45 号 工事請負契約の変更について(美又温泉外湯建設工事に伴う建築主体工事)

4 執行部報告事項

- (1) 浜田市ふるさと産品創出等支援事業「#ふるさと納税 3.0」の取組について
- (2) 浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会の解散について
- (3) 石見神楽団体への補助金の交付決定について
- (4) その他
(配布物)
 - ・漁業別水揚げについて
- 5 所管事務調査
 - (1) 採択した請願の進捗状況について **【該当課】**
 - (2) 令和5、6年度「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業の事業報告について **【水産振興課】**
 - (3) 「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業（事務事業評価）について **【水産振興課】**
 - (4) 観光協会助成事業（事務事業評価）について **【観光交流課】**
 - (5) 美又温泉の公募の状況、今後のスケジュールについて **【金城支所産業建設課】**
- 6 地域井戸端会に寄せられた意見等への対応協議について
- 7 取組課題について（委員間で協議）
 - (1) 浜田漁港・商港の活性化
 - (2) 中山間地域の再生
 - (3) 行政視察
- 8 その他

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
103	「道の駅 ゆうひパーク 浜田」の整備運営および 指定管理に関するお願い について	株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1 代表取締役 森谷 公昭	森谷 公昭	R8. 6. 2
付託委員会		審査経過（委員会）	審議結果（本会議）	結果 年月日
産業建設委員会				

【趣旨】

「道の駅ゆうひパーク浜田」の新たな整備運営計画や第一優先交渉権者との選定過程において、プロポーザル方式の不透明さに対し議会や市民から多数の懸念が示されています。地元産品の活用割合や地元住民の雇用率といった本市に対する「地元貢献の数値目標（KPI）」や、市への納付金額が極めて不明確であり、本当に市民が恩恵を受けられる施設となるのか深い懸念があります。都川まちづくりセンター、久佐まちづくりセンター、みどりかいかん等の井戸端会議でも不安の声が寄せられたため、市民の貴重な財産を適切に運用すべく以下の事項をお願いいたします。

【請願事項】

1. 「ゆうひパーク浜田」の指定管理者選定過程において、地元雇用・産品活用等の明確な数値目標（KPI）や納付金額を、市民に開かれた形で厳格に精査・公開すること。

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
104	道の駅「ゆうひパーク浜田」の次期整備運営事業者選定の白紙撤回及び再公募を求める請願について	株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1 代表取締役 森谷 公昭	森谷 公昭	R8. 6. 2
	付託委員会	審査経過（委員会）	審議結果（本会議）	結果 年月日
	産業建設委員会			

【趣旨】

現在、浜田市が進めている道の駅「ゆうひパーク浜田」の次期整備運営事業者の選定について、優先交渉権者（株式会社第一ビルサービスを代表とする浜田まちおこし共同企業体）との契約手続き等を一旦白紙撤回し、ゼロベースから再公募のやり直しを行うことを求めます。

【請願の理由】

道の駅「ゆうひパーク浜田」は、長年にわたり浜田市の観光・産業の拠点として、また市民の憩いの場として重要な役割を果たしてきました。しかし、今回の次期事業者の選定プロセスや提示された事業計画には、看過できない重大な問題や矛盾が多く存在しており、このまま15年間という長期契約を押し進めることは浜田市の将来にとって大きな不利益をもたらすと考えます。その主な理由は以下の通りです。

1. 出発点からの不自然な対応と信頼関係の崩壊

今回の事業者選定にあたり、市は「公平なプロポーザル審査を行うため」という理由で、現運営会社（ゆうひパーク浜田株式会社）の株式を無償譲渡しました。この唐突な手続きの進め方により、30年にわたり施設を支えてきた現運営会社との間に強い不信感が生じ、初期段階から関係がこじれる結果を招きました。

2. 実体の不透明な共同企業体（JV）と、根拠に乏しい事業計画

優先交渉権者として選定された共同企業体から提出された事業収支計画は、大部分をテナントからの「家賃収入」に依存しているにもかかわらず、その家賃設定の詳細な明細や根拠が示されていません。自らリスクを負わずテナント任せにする、非常に不透明かつ脆弱な経営計画であると言わざるを得ません。

3. 高額な家賃設定による現テナントの撤退危機

現在、第一ビルサービス側が提示する家賃条件等を巡り、道の駅の主要テナントである道の駅

の主要テナントである現運営会社（モスバーガーや飲食店等を運営）との交渉が難航し、決裂の危機にあると報じられています。現テナントの撤退は、道の駅の魅力を著しく損なうだけでなく、「現施設の機能維持」という募集要項の前提すら崩れる事態です。

4. 市議会における「反対多数」という重い事実

本年（令和8年）2月に開催された浜田市議会の産業建設委員会において、この事業計画案に対する自由討議が行われた結果、「賛成3名、反対4名」と、計画の推進に反対する意見が上回りました。委員からは「利益誘導型の施設になる懸念」「議会の意見が反映されていない」「白紙に戻して再策定すべき」といった厳しい指摘が相次いでおり、市民の代表である議会の理解が得られていないことは明白です。

【結論】

現在、優先交渉権者が決定しているとはいえ、上記のように「家賃交渉の難航」「不十分な事業計画」「議会での反対多数」という多くの問題を抱えた状態で、無理に事業を強行すべきではありません。一時的に運営事業者が不在となる空白期間が数ヶ月生じたとしても、将来にわたって禍根を残すような不適切な契約を結ぶよりは遥かにましです。

道の駅「ゆうひパーク浜田」を、真に市民や利用者に愛され、地元事業者が活躍できる施設として再生させるためには、現在の選定結果に固執することなく、勇気を持って一度白紙に戻すべきです。そして、「本当に道の駅を良くしたい」と手を挙げてくれる事業者を、透明性の高い手続きで最初から探し直すことが最善の策であると確信いたします。

【請願事項】

1. 道の駅「ゆうひパーク浜田」の次期整備運営事業者に係る優先交渉権者の決定を白紙撤回すること。
2. 市民や議会の意見を十分に反映した上で、募集要項や選定基準を見直し、改めて透明で公正な再公募を実施すること。

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
105	浜田駅前（三つ桜跡地等） の有効活用とランド デザイン策定に関する請願 について	株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1 代表取締役 森谷 公昭	森谷 公昭	R8. 6. 2
付託委員会		審査経過（委員会）	審議結果（本会議）	結果 年月日
産業建設委員会				

【趣旨】

浜田駅前の一等地である「三つ桜跡地」等が、市に購入されたにもかかわらず、長期間にわたり明確な活用策が示されないまま「塩漬け状態」として放置されており、市民からは強い不満と不安の声が上がっています。

貴重な駅前を単なる空き地や駐車場とするのではなく、街に活気と収益をもたらす明確なビジョンが必要です。

市木まちづくりセンター、子育て世代包括支援センター等の井戸端会議においても賑わい創出への意見が寄せられたため、閉塞感を打破し市民の期待に応える街づくりを進めるため、以下の事項を請願いたします。

【請願事項】

1. 浜田駅前（三つ桜跡地等）について、大手チェーン店等が参入しやすい民間誘致など、明確にお金と賑わいを生み出すランドデザインを市が主導して早期に示し実行すること。

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
106	基幹産業の持続と若手担 い手育成、深刻な鳥獣被 害対策に関する請願につ いて (請願事項 1.2 産業建設 委員会付託分)	株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1 代表取締役 森谷 公昭	森谷 公昭	R8. 6. 2
付託委員会		審査経過 (委員会)	審議結果 (本会議)	結果 年月日
文教厚生委員会				
<p>【趣旨】</p> <p>本市の基幹産業である農林水産業は、高齢化と後継者不足により危機的状況にあります。耕作放棄地の増加や無計画な山林伐採は、イノシシやシカ等の深刻な鳥獣被害の温床となっており、「夜歩くのも怖い」という声も上がっています。また、アユやワタリガニ、素巻きといった100年先に残したい食文化の継承も危ぶまれています。</p> <p>市木まちづくりセンター、都川まちづくりセンター、井野まちづくりセンター、周布まちづくりセンター、弥栄多目的研修集会施設/弥栄会館、子育て世代包括支援センター、旭公園市民体育館/今市まちづくりセンター等の井戸端会議でも担い手育成や環境保全を求める声が上がったため、以下の事項を請願いたします。</p> <p>【請願事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師支援と同様に、水産高校卒業生に対する「奨学金制度及び免除制度」や、農業の若手担い手に対する大胆な直接支援策を創設すること。 2. イノシシやシカ等の出没を防ぐため、遊休農地のマッチング制度を構築し、実効性のある強力な鳥獣被害対策を徹底すること。 3. 中学校の家庭科室などの施設を市民に柔軟に開放し、地域固有の郷土料理や食文化を次世代に伝承できる環境を整備すること。 <p>※請願事項1、2は産業建設委員会、3は文教厚生委員会に付託</p>				

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
107	自己破産した農業用ハウス（TC 浜田跡地）および未活用財産の有効活用に関する請願について （請願事項 1 産業建設委員会付託分）	株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1 代表取締役 森谷 公昭	森谷 公昭	R8. 6. 2
付託委員会		審査経過（委員会）	審議結果（本会議）	結果 年月日
産業建設委員会				

【趣旨】

本市には、過去に多額の公金や補助金が投じられたにもかかわらず、現在その役割を果たさず放置されている未活用財産が多数存在します。

巨額の資金を投じて建設されながら自己破産により事業停止となった巨大な農業用ハウス（TC トマト跡地等）や、統廃合によって使われなくなった廃校の解体計画の遅れなど、「負の遺産」をそのまま放置しておくのは税金の無駄遣いです。

都川まちづくりセンター、みどりかいかん、井野まちづくりセンター、子育て世代包括支援センター、旭公園市民体育館/今市まちづくりセンター等の井戸端会議でも再活用を求める声が上がったため、以下の事項を請願いたします。

【請願事項】

1. 自己破産した農業用ハウス（TC 浜田跡地等）を放置せず、市民に公募・開放し、野菜作り等で有効活用できる仕組みを構築すること。
2. 廃校等の未活用施設についても、地域の危険箇所とならないよう早期の解体と市民のための跡地活用計画を迅速に進めること。

※請願事項 1 は産業建設委員会、2 は総務委員会に付託

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
108	浜田漁港地域の排水処理 について調査と説明等を 求める請願について	浜田市国分町 1689-1 三島 淳寛	森谷 公昭	R8. 6. 2
付託委員会		審査経過（委員会）	審議結果（本会議）	結果 年月日
産業建設委員会				
<p>【趣旨】</p> <p>浜田市において、浜田漁港エリアの事業所から排水処理施設で下水を処理する料金として、排水量に基づく請求を行うことになっているが、請求の実態が排水量にもとづいていないとの情報がある。これによれば、長年、排水量を上回る料金を請求され支払っている事業所が多く存在するとともに、中には排水量に満たない料金しか支払っていない事業所も存在し、ルールに基づかない運用により、非常に不公平が生じているだけでなく、総排水量を上回る処理料金を徴収していることになっている。</p> <p>【請願事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浜田漁港エリアの排水処理について、請求のルールを確認し、運用が一致しているのかの確認を求める。 2. 過剰に請求し支払ってきた事業者に対する返金や、過小に支払ってきた事業者に対する請求等、必要な措置の検討を市に求め、結果を議会に報告することを求める。 3. ルールに基づかず、排水量以上に処理料金を請求している実態がある場合、遡れる範囲での実態の説明、原因の究明、再発防止、是正措置、関係者の処分等の検討を市に求めることを求める。 				

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
109	JF（漁協）関連施設等への公金投入と公平性の見直しに関する請願について	株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1 代表取締役 森谷 公昭	森谷 公昭	R8. 6. 2
付託委員会		審査経過（委員会）	審議結果（本会議）	結果 年月日
産業建設委員会				

【趣旨】

本市には多額の税金が投入されている大型公共施設が多数存在しますが、一部の施設において指定管理のあり方や費用対効果に対する不透明さが指摘されています。

特に、巨額の市費で建設された JF（漁協）関連施設等において、本来自ら建設・管理すべき施設を市が代行建設した上に、利用にあたって家賃の支払いが免除されている実態に対し、市民から厳しい批判が上がっています。

都川まちづくりセンター、久佐まちづくりセンター、みどりかいかん等の井戸端会議でも厳しい指摘が寄せられたため、持続可能な行財政運営に向けて以下の事項を請願いたします。

【請願事項】

1. JF 関連施設等、多額の公金が投入されている施設における家賃免除等の優遇措置の実態を透明化し、その費用対効果と公平性を厳格に精査・見直すこと。

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
110	生活インフラの安全確保 と維持管理の負担軽減に 関する請願について (請願事項 2 産業建設委 員会に付託分)	株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1 代表取締役 森谷 公昭	森谷 公昭	R8. 6. 2
	付託委員会	審査経過 (委員会)	審議結果 (本会議)	結果 年月日
	産業建設委員会			

【趣旨】

道路や橋梁などの老朽化が進んでおり、安全確保は一刻を争う事態です。消えかかった横断歩道や白線が放置され、事故を誘発しかねない危険箇所が多数存在します。

また、水道料金の大幅な段階的値上げが計画されており、市民生活への重い負担が懸念されています。

さらに、計画から30年経っても進まないバイパス工事跡地に放置された残土問題など、迅速な対応が求められています。

和田まちづくりセンター、市木まちづくりセンター、都川まちづくりセンター、井野まちづくりセンター、周布まちづくりセンター、石見まちづくりセンター、旭公園市民体育館/今市まちづくりセンター等の井戸端会議でも強い声が上がったため、以下の事項を請願いたします。

【請願事項】

1. 消えかかった横断歩道や交差点の停止線・白線を公安委員会等へ働きかけ早急に引き直すこと。
2. 浜田自動車道カルバート下部の鉄筋露出の修繕や、バイパス工事跡地の放置残土の処理など、危険箇所の迅速な修繕に向けて予算を重点配分すること。
3. 大幅な値上げが予定されている水道料金に対する生活負担軽減策を検討すること。

※請願事項1は総務委員会、2は産業建設委員会、3は文教厚生委員会に付託

浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会の解散について

浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会（以下、「協議会」とする。）は、令和 8 年 5 月 29 日に浜田市役所で行われた総会で解散しましたので報告します。

1 協議会の概要

【設立】

平成 27 年 6 月

【目的】

山と海の豊かな自然に育まれた郷土の食材を有する両市町が、食を通じた交流を推進することで、交流人口の増加を図るとともに、両市町の観光振興と地域経済の発展に寄与する。

【事業概要】

- (1) 食を通じた観光振興の施策推進に関する事。
- (2) 食を通じた観光振興の人材育成に関する事。
- (3) 両市町の特産品販売や観光 PR に関する事。
- (4) 相互の住民による観光交流の促進に関する事。

2 解散の理由

協議会設立から 10 年以上が経過し、両市町とも観光をはじめとする情勢が変化し、また、両市町は令和 4 年 4 月に広島広域都市圏に加盟しています。その他にも観光に関わる各種広域連携がいくつか存立し、協議会と同じく主に広島方面をターゲットとした情報発信・誘客に向けた取組が行われていることから役割等の整理も必要となりました。

こうした状況を踏まえ、両市町において協議を重ねた結果、協議会は設立当初の目的を概ね達成したものと判断し、発展的に解散することといたしました。

3 今後について

これまで築いてきた両市町の連携関係は引き続き大切にしながら、広島広域都市圏などの広域連携を基に、それぞれの地域資源を活かした観光振興に取り組みます。

石見神楽団体への補助金の交付決定について

令和 8 年度の採択団体が以下のとおりになりましたので報告いたします。

1 浜田市日本遺産石見神楽保存・継承支援事業補助金（令和 8 年度事業）

対象経費：神楽用具の新調・更新等に係る経費 【補助率：85%、上限 250 万円】

No	団体名	内容	交付決定額
1	石見神楽佐野神楽社中	鎧 4、刺繍大口袴 3、金襴格衣 3、金襴大口袴 5、平ガッソ 1、侍烏帽子後三年、金箱烏帽子 1、引立烏帽子 1	2,500 千円
2	石見神楽宇野社中	刺繍水干 1、刺繍大口袴 3	2,500 千円
3	石見神楽熱田保存会	蛇頭 3、蛇頭たれ 2、蛇胴 4、金襴狩衣 4、刺繍下着 2	2,500 千円
4	石見文化ホール女子神楽同好会舞姫社中	蛇頭 2、蛇胴 2、神楽面須佐之男、神楽面姫、神楽面爺、神楽面婆、金襴スサノオ袍衣、金襴スサノオ吊袴、金襴狩衣 3、金襴袖無 2、金襴大口袴 1、金襴婆着物 1、姫千早 1、姫下着 1、姫袴 1、箱烏帽子八調子 2 金箱烏帽子 1、びん毛黒 2、びん毛白 2、一般金襴腕抜き 1、スサノオ剣刀身のみ 1、黒刀 1、金襴たすき 1	2,500 千円
5	今福神楽社中	刺繍鬼着 2、刺繍大口袴 1	2,500 千円
6	上来原神楽社中	蛇頭 1、蛇胴 2、ガッソ 4、箱烏帽子 2 侍烏帽子後三年型 2、懐中烏帽子 7、神楽面神（修理）	1,133 千円
7	久佐西組神楽社中	鬼着 2	2,500 千円
8	今市神楽社中	蛇頭 2、蛇胴 2、千早 3、ちゃんちゃんこ 1 刺繍カルサン 1、鎧下 1、帽子 1、陣羽織 1、ガッソ 1	2,051 千円
9	松原神楽社中	鬼着 2	2,500 千円
合計			20,684 千円

2 浜田市石見神楽団体活動支援事業補助金（令和 8 年度事業）

対象経費：音響機器の更新や車両等の修繕など、神楽団体の活動に必要な経費
補助率：85%、上限 100 万円（上限の範囲内で補助金を複数年に分割して申請可能）

No	団体名	内容	交付決定額
1	石見神楽長澤社中	鬼着 1、大口 1	1,000 千円
2	石見神楽美川西神楽保存会	蛇胴 1	179 千円
3	浜田市職員石見神楽同好会	音響	1,000 千円
4	石見神楽宇野社中	蛇胴 3、蛇頭 1	866 千円
5	有福子供神楽社中	須佐之男命衣裳、照明、電子花火マシン	1,000 千円
6	日脚神代神楽社中	自主公演、社中トラックのタイヤ購入、蛇胴、たれ	825 千円
7	石見文化ホール女子神楽同好会舞姫社中	蛇胴 2、蛇頭 2	1,000 千円
8	今福神楽社中	蛇頭 2、蛇胴 2	1,000 千円
9	下来原西組神楽社中	蛇胴 1、蛇頭 2、大口袴修理 1、長胴太鼓 1、締太鼓 1	857 千円
10	久佐西組神楽社中	長胴太鼓、太鼓台	1,000 千円
11	追原神楽社中	刺繍鐘下着 1、刺繍疫神下着 1、刺繍陣羽織修理 1	1,000 千円
12	都川神楽団	音響	1,000 千円

13	丸原神楽社中	蛇頭 1、蛇胴 1、恵比須面 1	520 千円
14	岡崎神楽社中	出幕	308 千円
合計			11,555 千円

3 浜田市日本遺産石見神楽保存・継承支援事業補助金（令和 7 年度実績）

採択団体：7 団体、交付決定額：17,357 千円

※本事業は、2 か年の事業となりますので令和 9 年度に実績を報告いたします。

4 浜田市石見神楽団体活動支援事業補助金（令和 7 年度実績）

採択団体：17 団体、交付総額：14,988 千円

No	団体名	内容	交付決定額
1	後野神楽社中	音響機器の整備	1,000 千円
2	石見神代神楽上府社中	音響機器の整備	1,000 千円
3	石見神楽大尾谷社中	刺繍大口袴	1,000 千円
4	石見神楽佐野神楽社中	社中倉庫屋根修繕	1,000 千円
5	石見神楽亀山社中	蛇頭、かつら 2、音響機器の整備	1,000 千円
6	石見神楽長浜社中	社中所有トラック修繕	181 千円
7	石見神楽周布青少年神楽保存会	音響機器の整備	1,000 千円
8	有福神楽保持者会	音響機器の整備	1,000 千円
9	石見神楽細谷社中	音響機器の整備	1,000 千円
10	石見神楽上内田保存会	蛇胴 2、蛇頭 2、蛇垂布 2、帯 8	1,000 千円
11	若林神楽社中	片切 2、鬼着修繕 1	1,000 千円
12	波佐常磐倶楽部	蛇胴・蛇頭 2、酒呑童子面 1 等	1,000 千円
13	今市神楽社中	音響機器の整備	999 千円
14	杵束神楽社中	公演用音響機器整備	1,000 千円
15	井野神楽	音響機器の整備	500 千円
16	岡崎神楽社中	裏幕の新調	308 千円
17	松原神楽社中	倉庫増築	1,000 千円
合計			14,988 千円



石見神楽大尾谷社中_刺繍大口袴



石見神楽亀山社中_かつら



石見神楽上内田保存会_蛇頭



若林神楽社中_鬼着修繕



波佐常磐倶楽部_酒呑童子面等



岡崎神楽社中_裏幕

〈令和8年5月〉

漁業別水揚げについて (報告)

令和8年6月30日
産業建設委員会資料No.1
産業経済部水産振興課

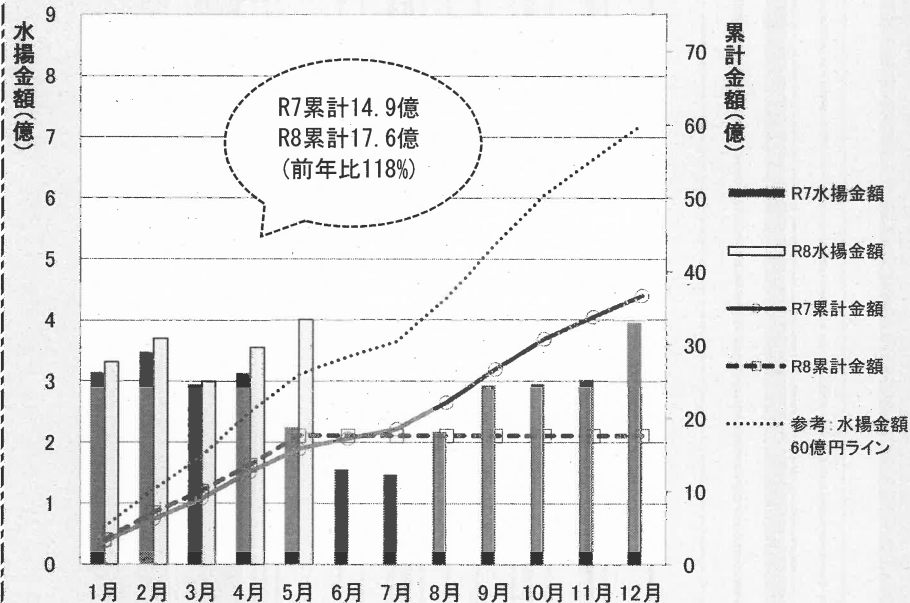
◆全体状況◆ 水揚量：1,065トン（前年比：117%、+151トン） 水揚金額：4億69万円（前年比：179%、+1億7,633万円）

【地元沖合底びき網漁業】水揚量：147トン（前年比127%、+31トン）
水揚金額：1億2,282万円（前年比116%、+1,677万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
ケンサキイカ	R7.5	9.8	18,327	1,868円
	R8.5	20.7	29,435	1,419円
マアジ	R7.5	3.3	1,469	451円
	R8.5	10.3	2,546	247円
レンコ	R7.5	19.7	10,931	555円
	R8.5	24.3	12,850	529円
ノドグロ (メッキン除く)	R7.5	0.8	6,428	7,655円
	R8.5	3.6	18,580	5,175円

◆水揚回数は前年より減少(15回→12回)したが、水揚量は増加。そのため全体の水揚量、金額ともに前年同月を上回った。

R7・R8 水揚金額



【地元中型まき網漁業】水揚量：410トン（前年比143%、+123トン）
水揚金額：1億1,768万円（前年比405%、+8,863万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マアジ	R7.5	7.6	1,996	261円
	R8.5	160.1	71,095	444円
マサバ	R7.5	276.7	26,578	96円
	R8.5	238.0	44,575	187円
ウルメ	R7.5	0.8	154	183円
	R8.5	9.1	888	98円

◆高単価なマアジの水揚量が前年に比べ大きく上回った。また操業回数も前年同月に比べ増加(9回→16回)したため、全体の水揚量、金額ともに前年を上回った。

【大中型まき網漁業】水揚量：282トン（前年比85%、▲48トン）
水揚金額：7,642万円（前年比175%、+3,285万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マアジ	R7.5	69.1	16,548	239円
	R8.5	166.1	62,893	379円
マサバ	R7.5	238.2	24,115	101円
	R8.5	112.0	12,170	109円
スルメイカ	R7.5	1.8	1,272	714円
	R8.5	0.4	281	727円

◆全体の水揚量は前年同月に比べ減少したが、高単価なマアジの水揚量が前年より2.4倍となった影響もあり、全体の水揚金額は前年を上回った。

【地元外中型まき網漁業】水揚量：111トン（前年比-、+111トン）
水揚金額：2,107万円（前年比-、+2,107万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マサバ	R7.5	-	-	-
	R8.5	79.7	10,727	135円
マアジ	R7.5	-	-	-
	R8.5	28.1	9,556	340円
ウルメ	R7.5	-	-	-
	R8.5	2.5	330	130円

◆前年同月は水揚げがなかったが、今年は6回の水揚げがあったため、全体の水揚量、水揚金額ともに前年を上回った。

令和7年 令和8年 漁業別水揚げ比較表

5月

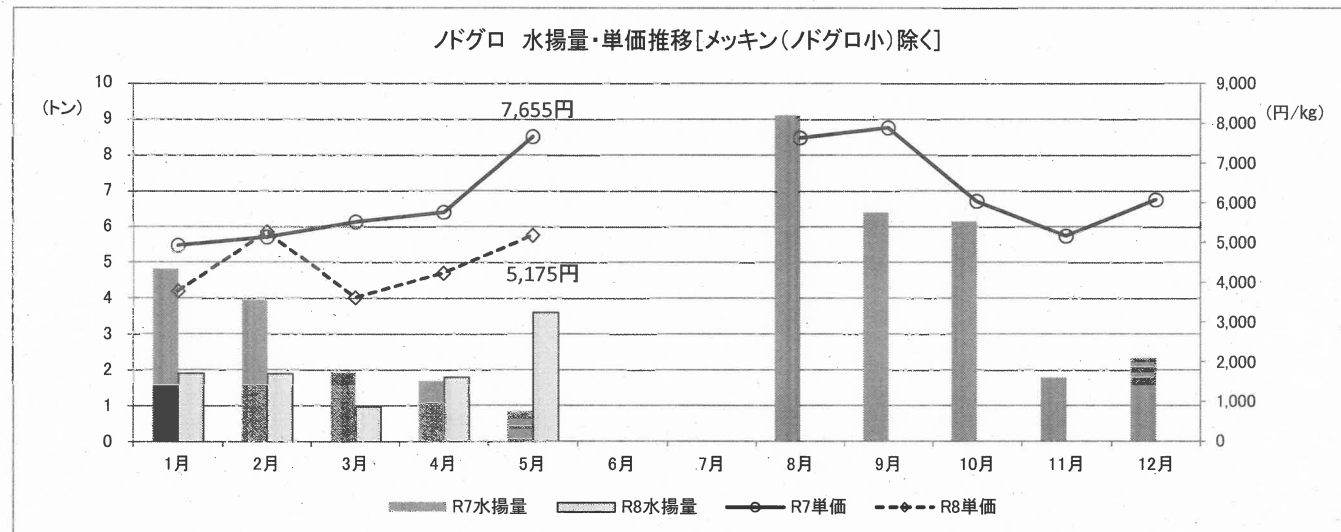
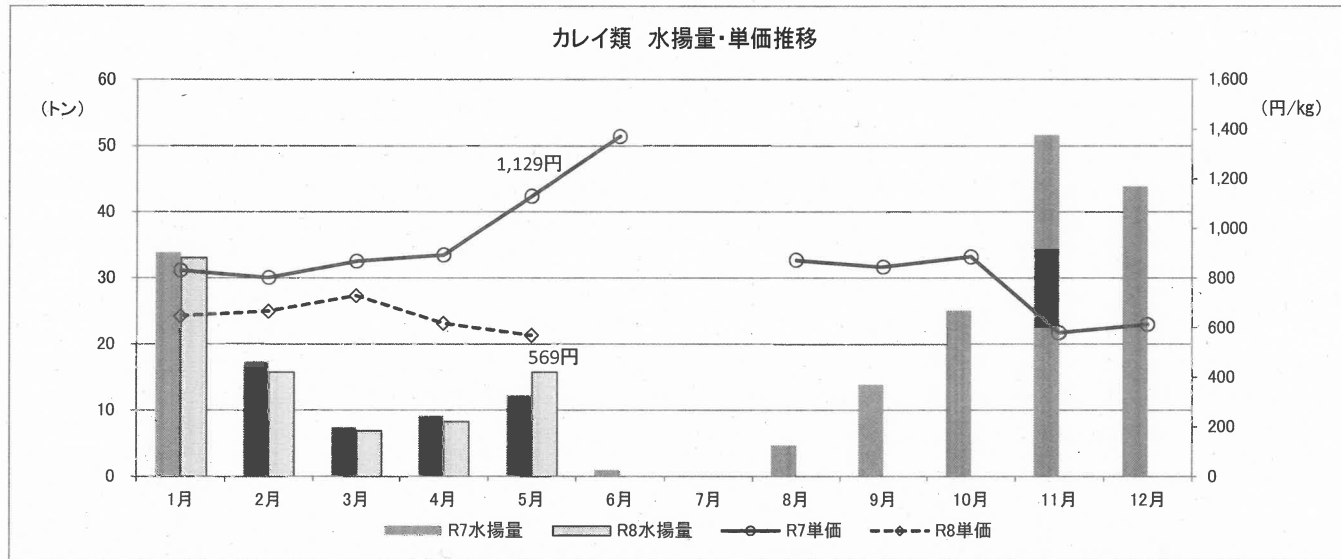
漁業種類	年	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
01 沖合底曳網(地元船)	7	115,705.2	127.1	98,200,587	115.8	106,056,635
	8	147,070.0		113,726,835		122,824,982
02 沖合底曳網(地元外)	7	0.0	-	0	-	0
	8	0.0		0		0
03 小型底曳網	7	0.0	-	0	-	0
	8	0.0		0		0
04 大中型旋網	7	329,902.0	85.4	40,338,922	175.4	43,566,036
	8	281,770.0		70,754,852		76,415,239
05 中型旋網(地元船)	7	286,949.2	143.0	26,894,109	405.1	29,045,640
	8	410,365.6		108,960,548		117,677,392
06 中型旋網(地元外)	7	0.0	-	0	-	0
	8	111,405.0		19,507,841		21,068,469
07 小型いか釣(5t以上)	7	4,373.0	297.8	3,373,850	313.0	3,643,758
	8	13,021.0		10,559,350		11,404,097
08 いか釣(5t未満)	7	1,030.0	-	800,850	-	864,918
	8	0.0		0		0
09 大型定置網	7	140,876.1	55.4	20,902,516	139.0	22,574,718
	8	78,035.8		29,062,707		31,387,723
10 小型定置網	7	1,830.0	171.0	137,250	1,017.6	148,230
	8	3,129.6		1,396,700		1,508,435
11 しいら網	7	0.0	-	0	-	0
	8	0.0		0		0
12 一本釣(浜田)	7	10,800.7	54.7	2,635,452	179.5	2,846,290
	8	5,909.3		4,731,118		5,109,610
13 一本釣(国府)	7	5,460.6	54.8	728,406	249.0	786,678
	8	2,989.7		1,813,569		1,958,657
14 一本釣(長浜)	7	2,939.1	33.8	2,597,628	58.4	2,805,441
	8	993.1		1,515,774		1,637,043
15 一本釣(津摩)	7	999.3	97.5	1,033,193	98.3	1,115,849
	8	974.4		1,015,487		1,096,728
16 一本釣(三隅)	7	238.0	426.5	252,650	347.3	272,863
	8	1,015.0		877,520		947,721
17 一本釣(江津)	7	5,551.4	73.1	1,954,350	151.9	2,110,698
	8	4,056.5		2,969,050		3,206,576
18 近隣支所	7	0.0	-	0	-	0
	8	190.0		344,670		372,244
19 その他	7	185.3	143.1	390,435	110.7	421,668
	8	265.1		432,100		466,669
20 陸送	7	7,726.3	55.1	7,509,480	44.6	8,110,239
	8	4,255.8		3,345,510		3,613,152
合計	7	914,566.2	116.5	207,749,678	178.6	224,369,661
	8	1,065,445.9		371,013,631		400,694,737
前年との増減		150,879.7		163,263,953		176,325,076

1月～5月累計

令和8年6月30日 産業建設委員会資料No.2 産業経済部水産振興課				
数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
1,372,538.6	63.5	970,063,315	68.3	1,047,668,385
871,349.2		662,904,139		715,936,471
0.0	-	0	-	0
0.0	-	0	-	0
48.0	-	48,850	-	52,758
0.0	-	0	-	0
2,043,161.5	169.9	154,456,622	406.8	166,813,154
3,471,937.0		628,300,489		678,564,526
693,798.5	79.0	57,977,132	246.6	62,615,305
548,406.0		142,997,078		154,436,845
293,254.0	64.3	34,132,125	77.3	37,591,694
188,418.0		26,901,426		29,053,541
5,337.0	299.4	4,219,150	313.3	4,556,681
15,978.0		13,220,700		14,278,356
1,190.0	0.0	946,990	0.0	1,022,749
0.0		0		0
321,837.0	82.3	65,142,257	105.0	70,353,639
264,729.6		68,399,971		73,871,969
1,830.0	-	137,250	-	148,230
3,129.6	-	1,396,700	-	1,508,435
0.0	-	0	-	0
0.0	-	0	-	0
28,206.8	88.2	17,117,882	128.8	18,487,313
24,866.4		22,041,582		23,804,919
12,395.1	161.6	4,048,704	119.7	4,372,604
20,028.5		4,846,539		5,234,264
14,616.6	38.4	12,906,192	67.3	13,938,691
5,610.6		8,690,521		9,385,777
2,551.4	61.5	3,885,701	68.6	4,196,557
1,569.8		2,666,987		2,880,352
5,028.0	88.6	4,143,930	85.1	4,475,445
4,453.0		3,528,110		3,810,362
14,057.5	52.4	9,602,126	75.2	10,370,296
7,366.4		7,218,943		7,796,468
2,344.9	8.9	2,248,715	16.3	2,428,611
208.0		367,660		397,073
2,708.4	25.4	1,776,814	58.1	1,918,959
687.8		1,031,880		1,114,432
27,701.8	93.9	38,434,245	84.6	41,508,985
26,022.1		32,518,030		35,119,477
4,842,605.1	112.6	1,381,288,000	117.7	1,492,520,056
5,454,760.0		1,627,030,755		1,757,193,267
612,154.9	-	245,742,755	-	264,673,211

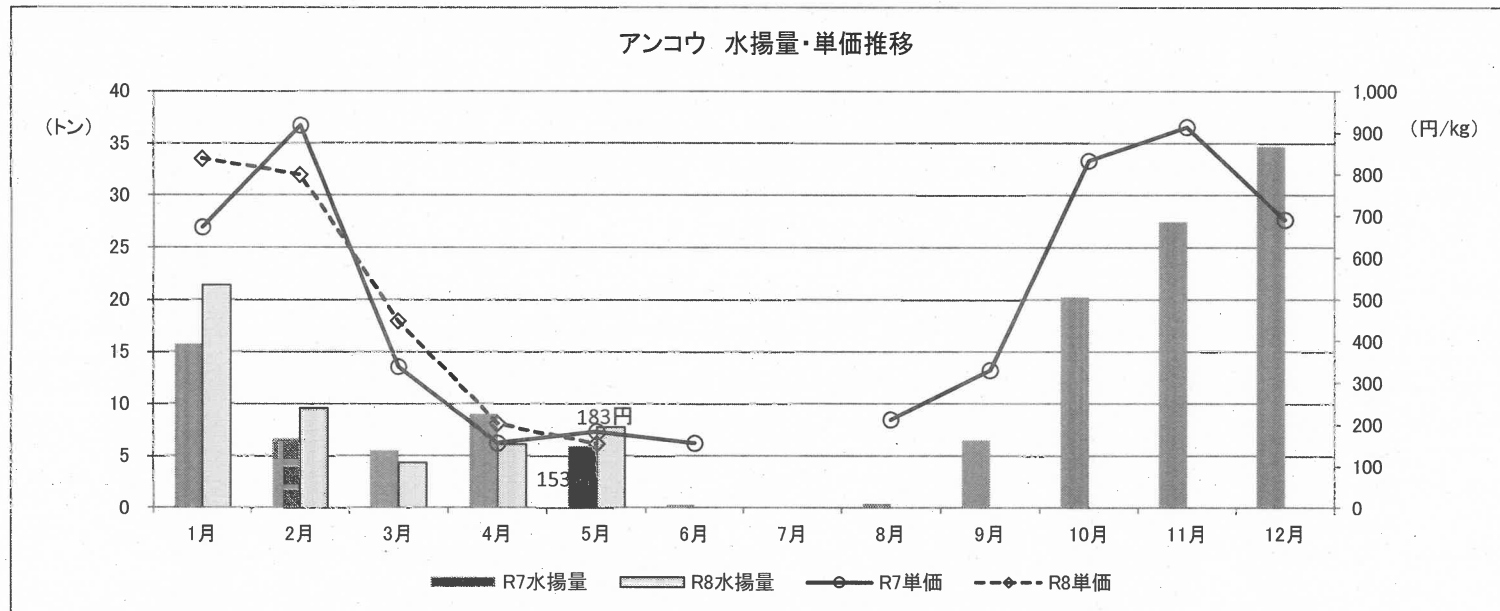
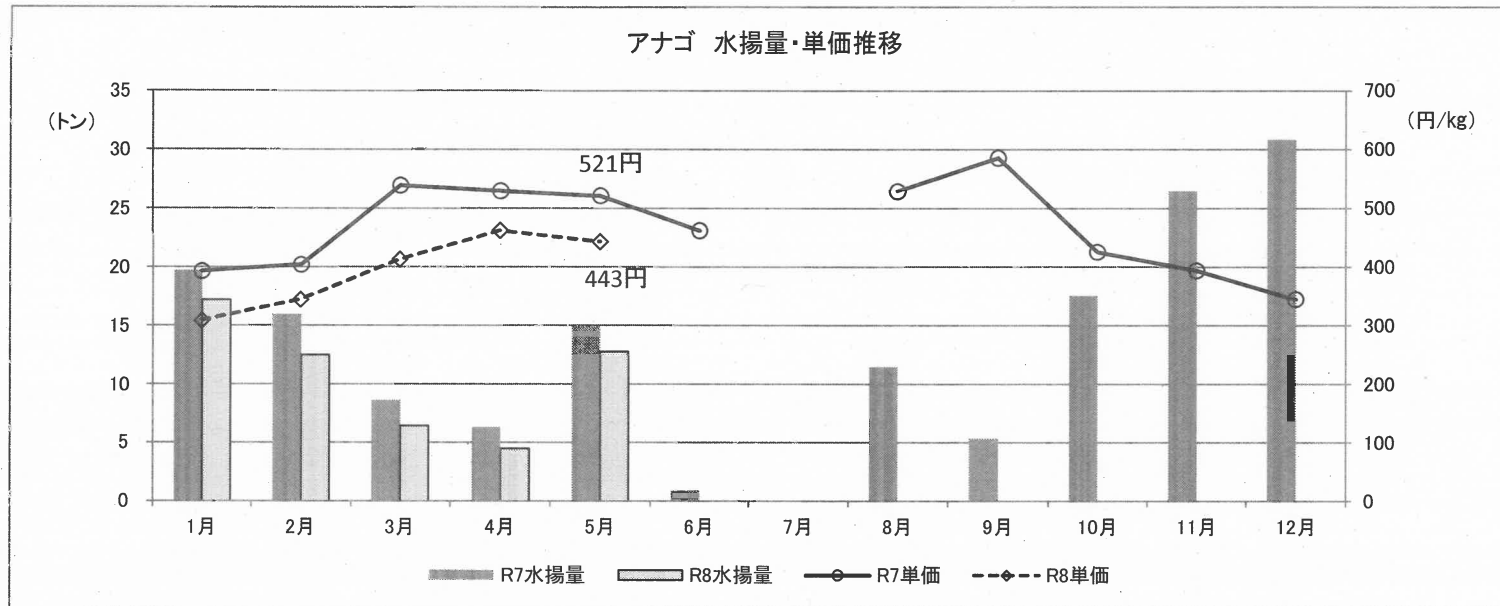
地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和8年6月30日
産業建設委員会資料No.3
産業経済部水産振興課

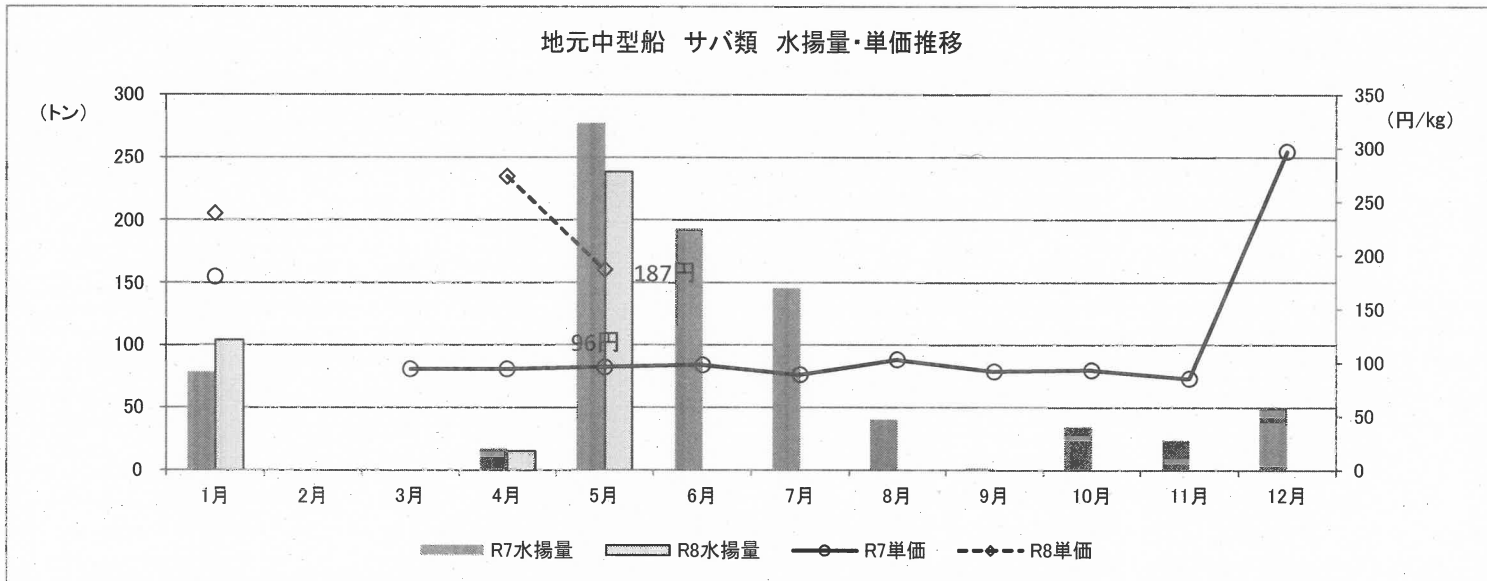
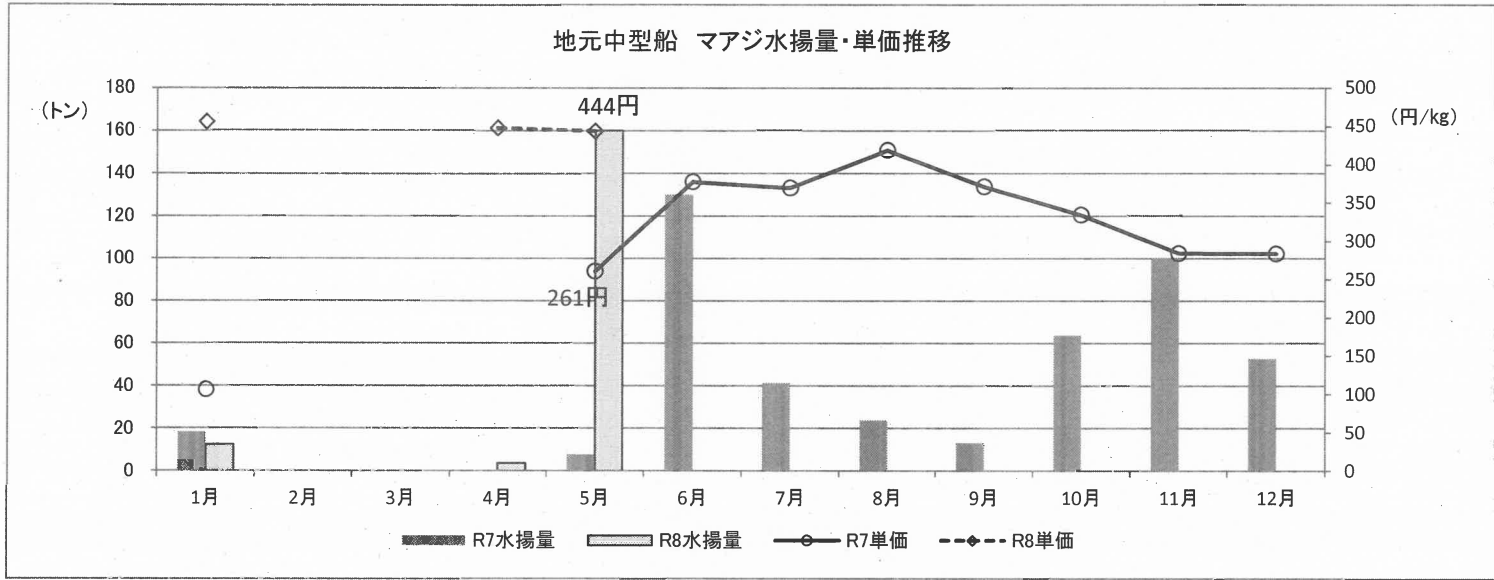


地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

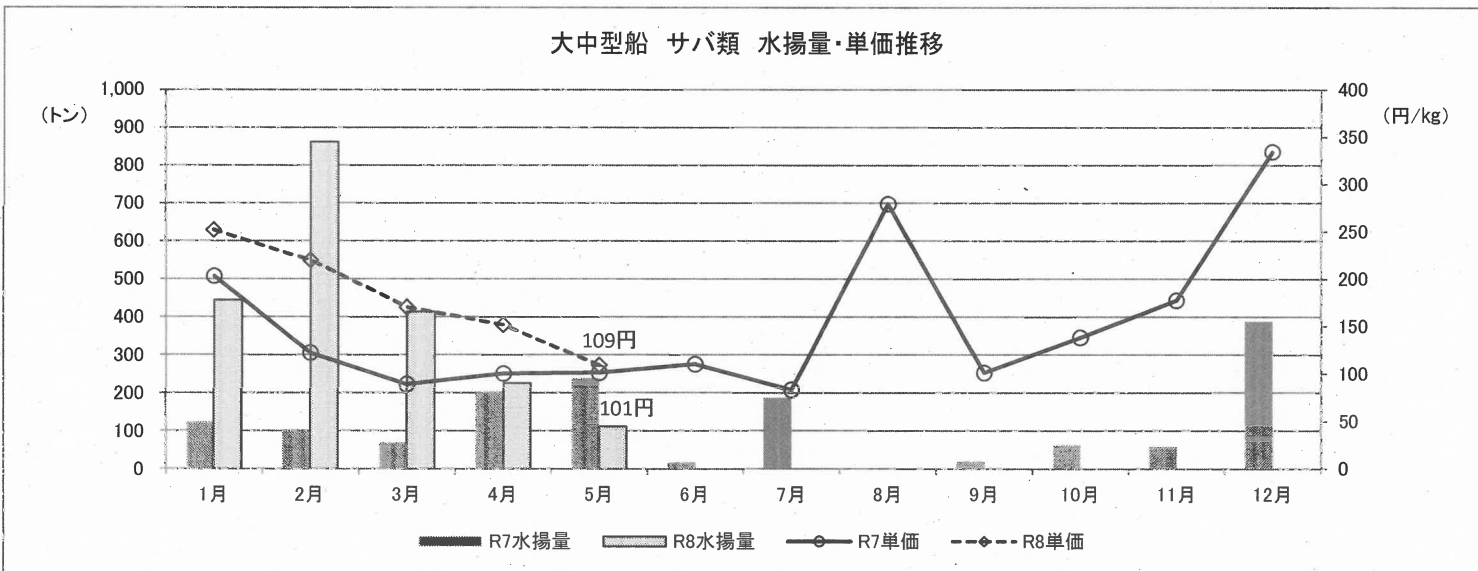
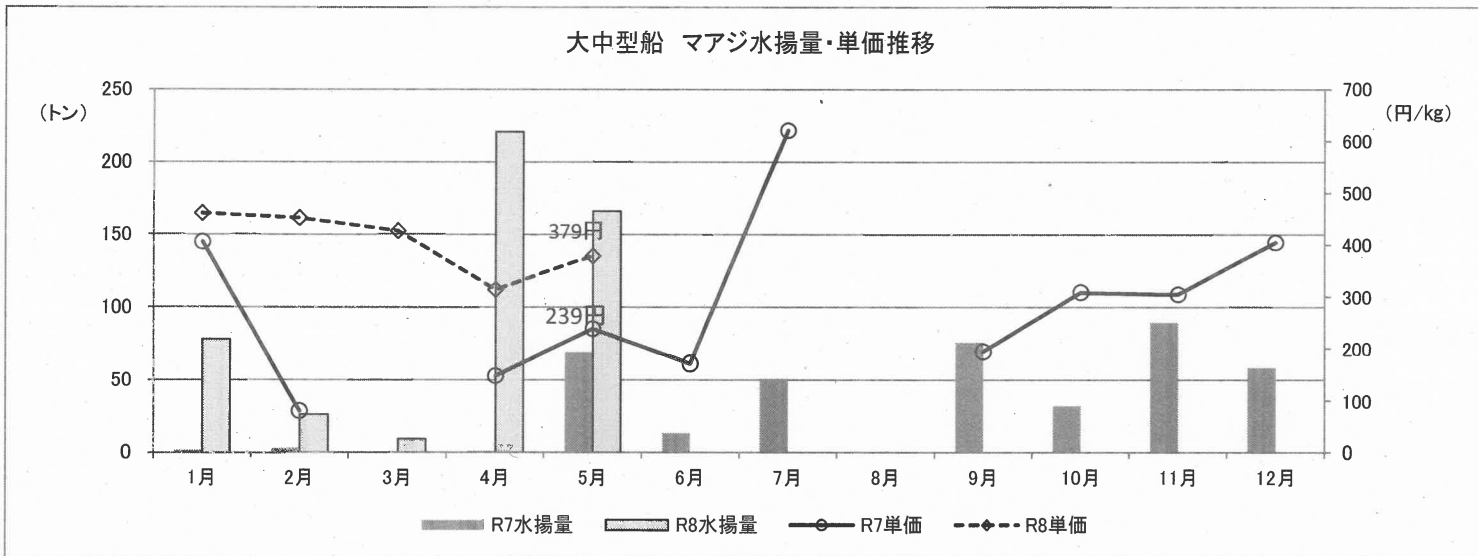
令和8年6月30日
産業建設委員会資料No.4
産業経済部水産振興課



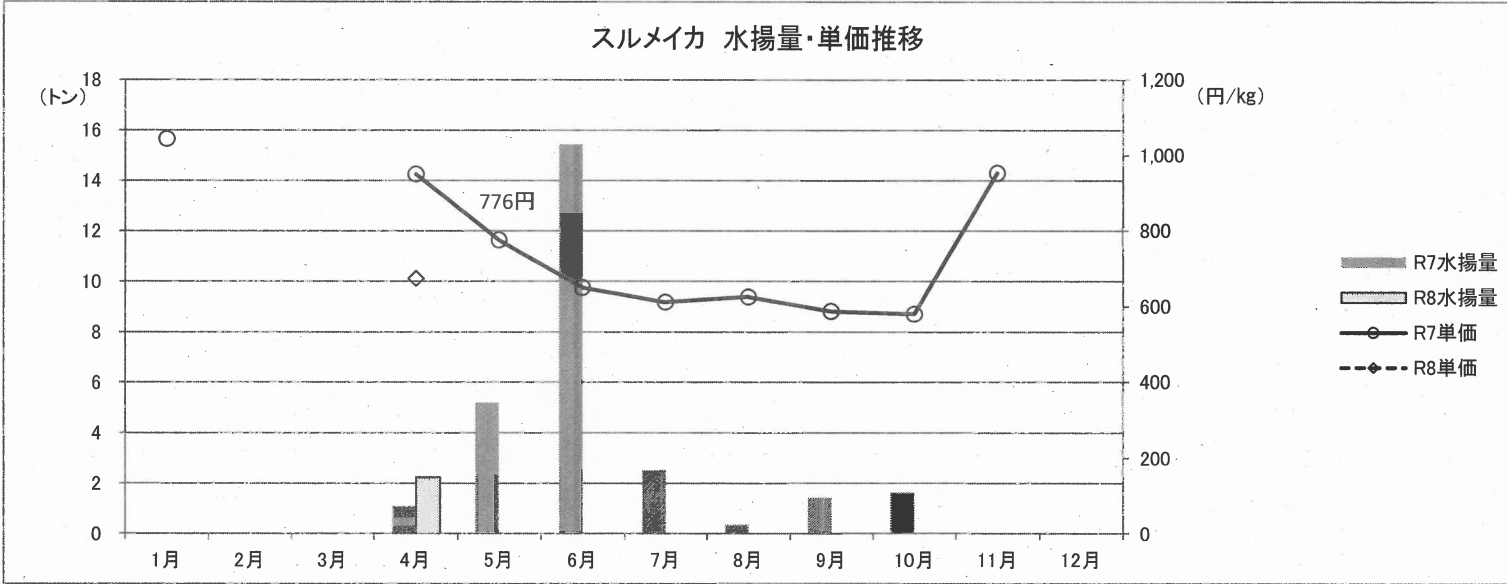
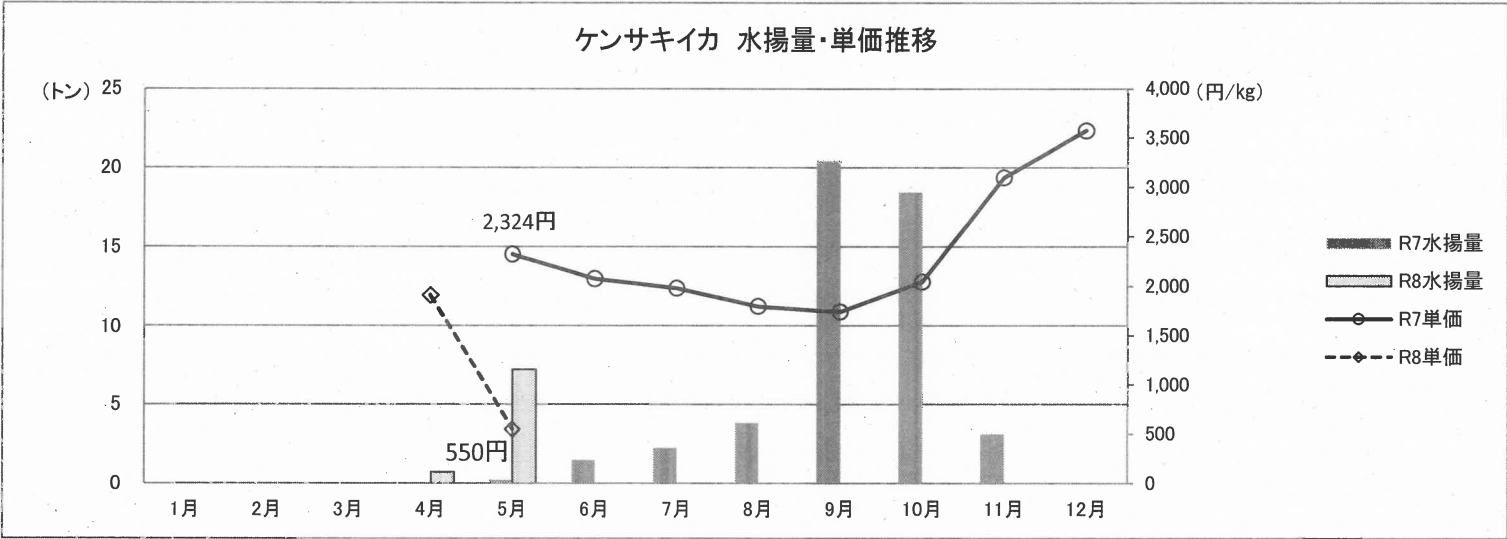
地元中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移



大中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移



いか釣漁業 (5t以上・5t未満) 主要魚種水揚量・単価の推移



採択した請願の進捗状況について

【請願第 55 号】

JR 浜田駅周辺整備の透明性向上を求める請願について

浜田駅周辺グランドデザインについては、透明性の確保と市民理解の促進を重視しながら検討を進めています。現在、地域力創造アドバイザーとともに駅周辺の関係者へのヒアリングを実施しており、その結果については整理後、市ホームページで順次公表する予定です。

また、グランドデザイン策定スケジュールを前倒しし、令和 8 年 9 月議会にたたき台を提示するとともに、パブリックコメントや各種会議体等での説明・意見交換を通じて合意形成を図ってまいります。

なお、グランドデザインは駅周辺の将来像を示すものであり、具体的な事業費や財源については、策定後に個別事業の検討とあわせてお示しします。

【請願第 56 号】

三桜酒造跡地の利活用に関する透明性確保を求める請願について

三桜酒造跡地の利活用については、浜田駅周辺グランドデザインで示す将来像の実現に向けたプロジェクトの一つとして検討を進めていくこととなります。

一方、三桜酒造跡地の利活用については、これまで三桜酒造跡地公共活用検討委員会からの提言や、令和 6 年度の現状分析・調査事業、令和 7 年度の社会実験における市民アンケートなどを通じて、市民意見の把握と具体的な検討を行ってきたところです。

今後は、これまでの検討結果や現在実施している駅周辺関係者へのヒアリング結果も踏まえながら、グランドデザインで示す浜田駅周辺の賑わい創出に寄与する活用案を具体化し、市民の皆さんとの合意形成を図ってまいります。

採択した請願の進捗状況について

【請願第 59 号】

市管理区域の草刈り・溝掃除の行政負担化を求める請願について

(1) 具体的な負担軽減策について

これまで町内が草刈りを行っていた箇所のうち、集落間を結ぶ道路かつ住宅のない区間については、市が業者へ委託して草刈りを行っています。

【請願第 60 号】

生活道路の補修計画および舗装基準の明確化を求める請願について

(1) 周辺住民への回覧の内容について

主に工事の名称、場所や内容、通行規制などを掲載しております。

(2) 現状何件の危険個所があり、どの程度改修されたか。

危険箇所総数は 92 件で、このうち 86 件が対応済みです。

(3) 舗装基準について、ホームページ等への掲載内容について

市道認定基準および路面復旧基準に舗装構成が記載されております。市道認定基準は、主に道路の隅切部分の形状や舗装構成などの技術的な基準です。

路面復旧基準は、水道管などを道路に埋設する際の舗装復旧方法を定めた基準です。

(4) 補修・舗装予定一覧のホームページ等への掲載内容について

令和 8 年度の道路改良・舗装整備等の発注予定について、ホームページに一覧で掲載しています。主な掲載内容につきましては、路線名・工事の場所・概要・発注時期および担当課です。

【請願第 61 号】

市内河川の点検強化および治水対策の充実を求める請願について

(1) 住民が危険個所を通報できる仕組みについて

毎年開催されます行政連絡員会議において、河川や道路等の被害が発生した際には、発生場所のほか、人的被害や家屋被害の有無などの状況を報告していただくようお願いしています。

【請願第 82 号】

令和 7 年度における道路や河川等のインフラ整備の状況について

(1) 道路や河川等インフラ整備要望の年度内執行状況について

令和 7 年度につきまして、道路に関する要望が 1,244 件で、このうち対応済みは 1,090 件です。河川に関する要望が 18 件で、このうち対応済みは 8 件です。

採択した請願の進捗状況について

【請願第 63 号】

空き家対策の強化を求める請願について

(1) 空き家の定期的な実態調査について

空き家の実態調査においては、市の空家等対策計画における効率的な施策を推進するための基礎資料としており、今後も対策計画更新時にあわせて定期的な調査を実施していくこととしております。

また、普段の業務においては、地域住民等からの情報提供や相談に基づいて、適宜、現地調査を行い、空き家の情報収集や既存データの更新に努めております。

(2) 倒壊の恐れのある建物への指導強化について

倒壊の恐れのある空き家については、空家特措法に基づく国のガイドラインにより、所有者等に対して現地の状況を注視しながら指導を行っております。今後も引き続き、危険空き家増加の抑制に努めてまいります。

【請願第 64 号】

市営住宅の入居基準見直しを求める請願について

(1) 申し込み手続きの簡素化について

現時点におきましては、入居申込手続を必要書類等により確認が必要なことから、書類の省略は困難なところですが、住宅供給公社への必要書類を郵送での受付を可能とするなど事務所に赴くことなく受付している事例もございます。

入居手続の最終的な簡素化のイメージは、入居時における必要事項の説明などを、ビデオ通話ツールを通じて実施することや、必要事項の入力、書類の提出をオンライン申請により行うことが想定されます。これらを実現するためには入居受付を行う住宅供給公社の環境整備が必要なことから、住宅供給公社へ環境整備を働きかけたいと考えています。

令和 5、6 年度「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業の事業報告について

1 概要

「浜田港四季のお魚」や「どんちっち」ブランドの PR、どんちっちノドグロ学校給食及び山陰浜田港お魚検定の実施などにより、山陰浜田港等のブランド認知度向上と魚食普及を推進した。また、「はまだお魚市場」を中心としたイベント開催により、浜田漁港エリアの賑わい創出に取り組んだ。

2 執行状況等

	令和 5 年度	令和 6 年度
予算現額	4,714 千円	4,793 千円
決算額	4,232 千円	4,176 千円
執行率	89.78%	87.13%
主な経費 事業実績	<p>○「山陰浜田港」PR 補助金 <u>951,842 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会出店 ・山陰浜田港お魚検定(受検者：34 名) ・PR 資材作成(クリアファイル等) ・商品開発支援 1 件 	<p>○「山陰浜田港」PR 補助金 <u>944,171 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会出店 ・山陰浜田港お魚検定(受検者：45 名) ・PR 資材作成(アンコウキャップ等) ・商品開発支援 2 件
	<p>○「山陰浜田港」活性化補助金 <u>1,198,986 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Shimane×Italy ・Shimane×Italy PART2 ・はまだお魚市場感謝祭 ・ラーメンフェス 	<p>○「山陰浜田港」活性化補助金 <u>822,554 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Shimane×Italy PART3 ・山陰浜田港どんちっちアジ祭り 2024 ・備品購入(イベント用テーブル)
	<p>○どんちっちブランド推進事業補助金 <u>522,914 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏イベントでの水産物 PR 販売等 	<p>○どんちっちブランド推進事業補助金 <u>537,991 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏イベントでの水産物 PR 販売等
	<p>○どんちっちノドグロ学校給食事業補助金 <u>380,000 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校、特別支援学校の最終学年の給食にノドグロを提供 	<p>○どんちっちノドグロ学校給食事業補助金 <u>649,827 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校、特別支援学校の最終学年の給食にノドグロを提供
	<p>○イベントテント・ステージ撤去保管等 <u>1,067,000 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまだお魚市場敷地内イベントテント及びステージの冬季期間中等における撤去、保管及び再設営等 	<p>○イベントテント・ステージ設営保管等 <u>1,078,000 円</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまだお魚市場敷地内イベントテント及びステージの冬季期間中等における撤去、保管及び再設営等

「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業（事務事業評価）について

1 事業の位置付けについて

(1) 最終目的（目指す姿）

「山陰浜田港」水産物のブランド力向上と消費拡大を通じて、以下の成果を目指す。

ア 魚価の向上による生産者及び関係事業者の収益向上。

イ 水産業を核とした地域経済の振興と交流人口の拡大。

ウ 次世代への豊かな魚食文化の継承。

持続可能な水産業の確立

(2) 施策の重要性

水産業の持続的な発展には、生産基盤の強化に加え、「付加価値の向上」と「安定した需要の創出」による収益確保が不可欠である。本事業は、市内外の需要を喚起して所得向上を図るとともに、市民の水産業への理解を深めるものであり、当市の水産業を将来にわたり支える最重要施策の一つと位置付けている。

2 成果指標について

(1) 成果指標の考え方

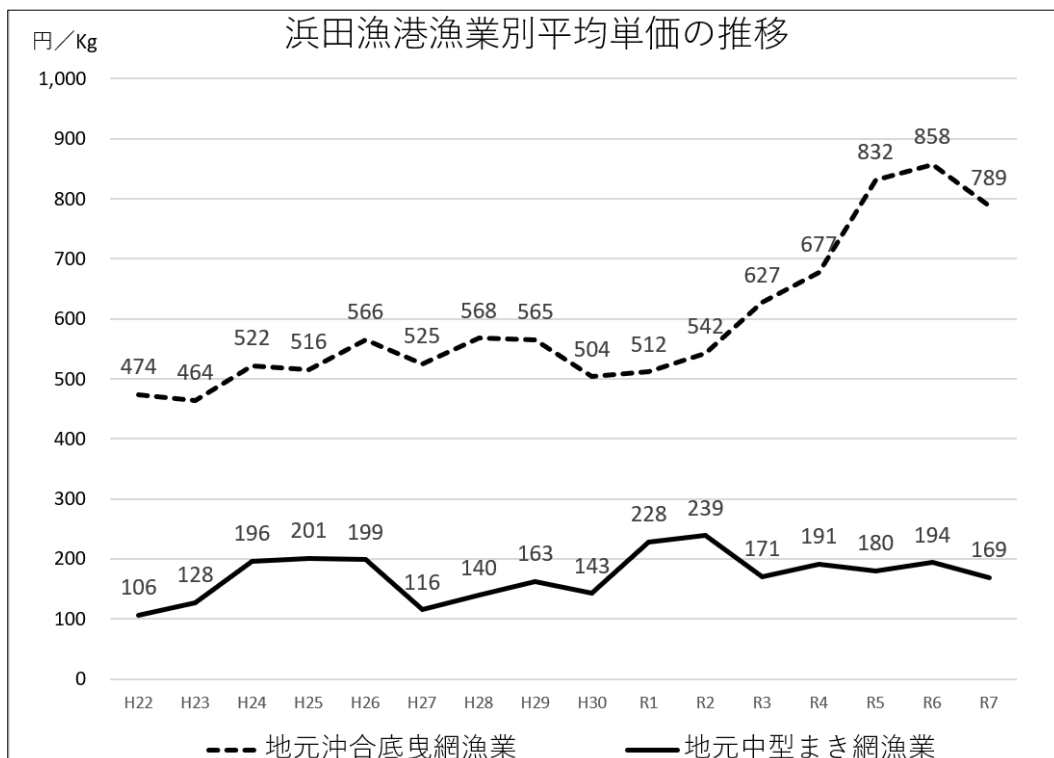
ブランドの認知度、市場への流通及び品質への信頼性を担保する基礎となるため「ブランド加盟事業者数」を指標としている。

(2) 課題等

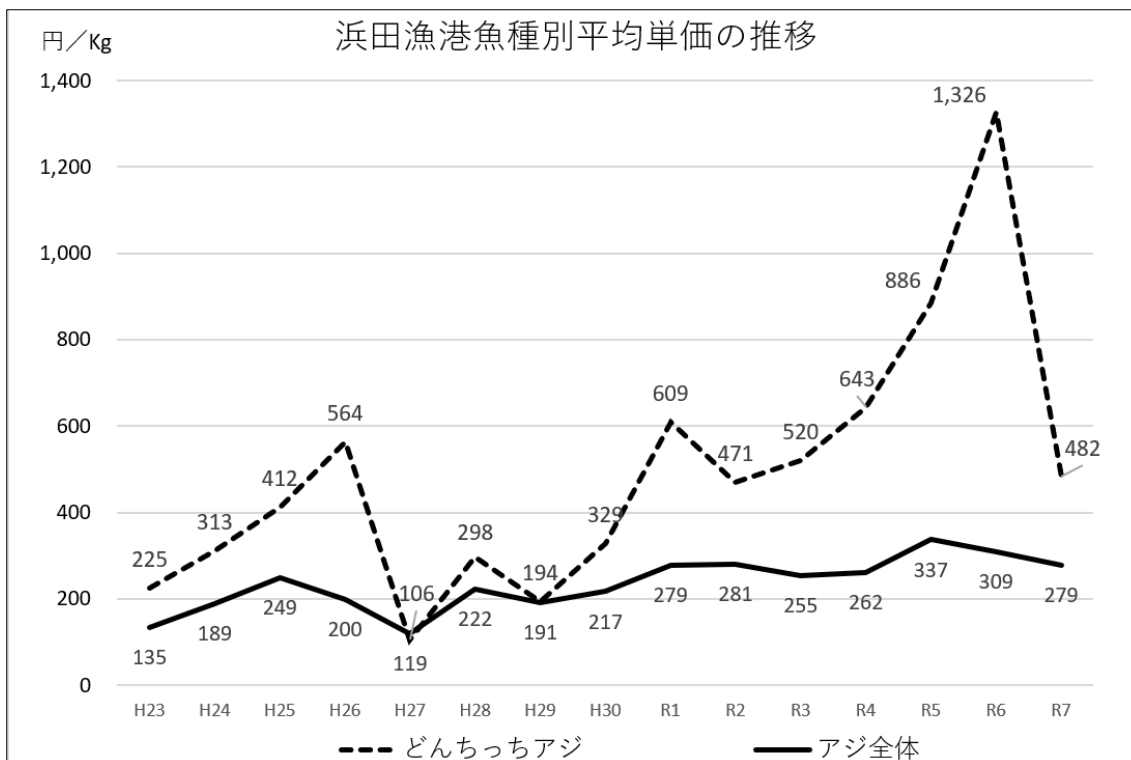
今後はブランド化がどれだけ「魚価や所得」に寄与したかという実質的な経済効果を補完的に把握する手法も検討。

3 ブランド化による効果について

(1) 漁業別の平均単価の推移

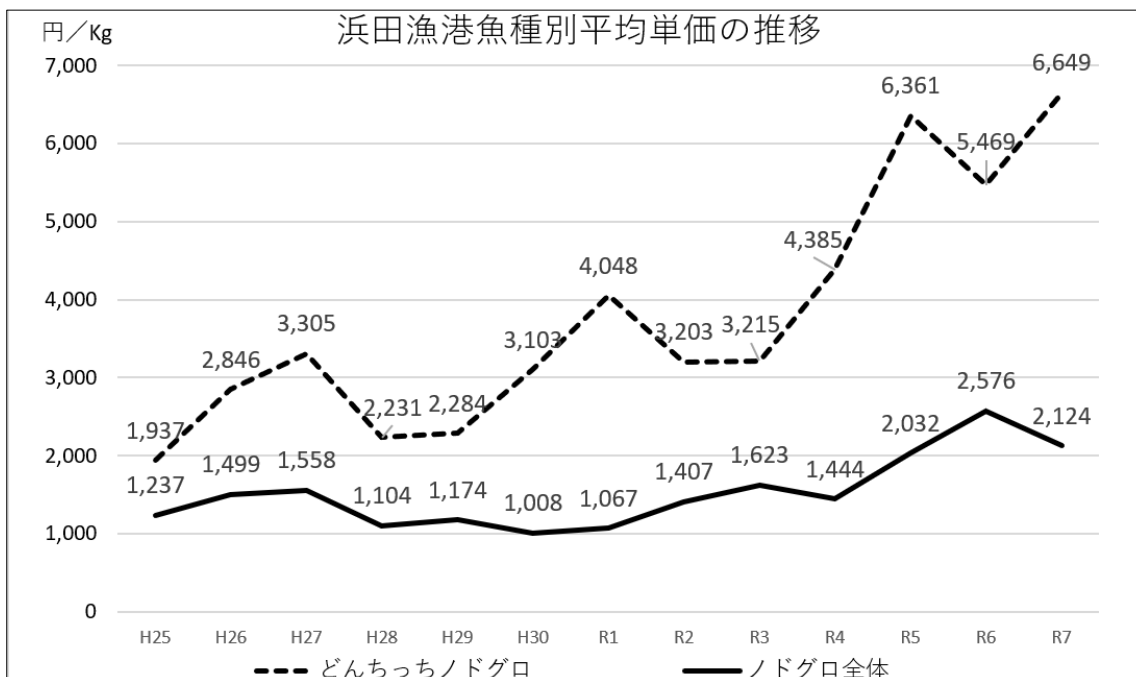


(2) どんちっちアジとアジの平均単価の推移



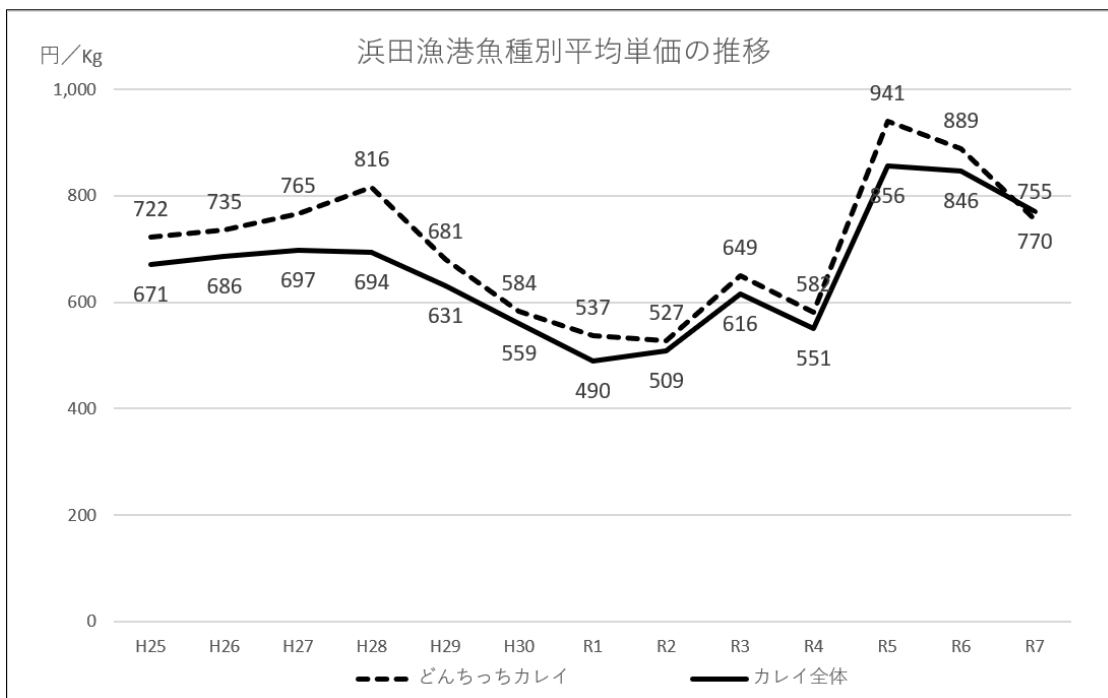
アジ全体の平均単価が 100 円から 300 円台で推移する中、どんちっちアジは令和元年度に 609 円、令和 6 年度には 1,326 円を記録するなど数倍の単価差をつけている。

(3) どんちっちノドグロとノドグロの平均単価の推移



ノドグロ全体の単価 (1,000 円から 2,000 円台) に対し、どんちっちノドグロは令和 7 年度には 6,649 円に達するなど、非常に高い市場価値を確立している。

(4) どんちっちカレーとカレーの平均単価の推移



他の 2 魚種ほど極端な差ではないものの、概ねカレー全体の平均単価を上回って推移しており、一定のブランド価格が形成されている。

4 目標未達の要因について

(1) 目標と実績 (目標：新規「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加)

	目標/実績	目標/実績	目標/実績	目標/実績	目標	目標
	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標	(年間) ・3 店増 (累計) ・6 店舗	(年間) ・6 店増 (累計) ・12 店舗	(年間) ・5 店増 (累計) ・17 店舗	(年間) ・5 店増 (累計) ・22 店舗	(年間) ・5 店増 (累計) ・27 店舗	(年間) ・5 店増 (累計) ・32 店舗
実績	(年間) ・2 店増 (累計) ・2 店舗	(年間) ・2 店増 (累計) ・4 店舗	(年間) ・2 店増 (累計) ・6 店舗	(年間) ・3 店増 (累計) ・9 店舗	—	—

(2) 要因及び今後の対応方針等

漁獲量減少による安定供給への不安、事業者の高齢化や後継者不足等の影響により、加盟業者の廃業に限らず、新規加入についての停滞も推測される。今後は、策定時と現在との社会情勢の実態等の乖離も踏まえて、次期計画や成果指標の再設定も検討する。

5 事業費及び費用対効果について

(1) 令和7年度事業費及び事業内容等

事業費・執行状況		
R7 予算現額	R7 執行額	R7 執行率
5,113 千円	4,139 千円	80.95%
内容等		
<p>【概要】</p> <p>「浜田港四季のお魚」や「どんちっち」ブランドのPR、どんちっちノドグロ学校給食及び山陰浜田港お魚検定の実施などにより、ブランドの認知度向上と魚食普及を推進した。また、「はまだお魚市場」を中心としたイベント開催により、浜田漁港エリアの賑わい創出に取り組んだ。</p> <p>なお、令和7年度は、「浜田港四季のお魚」の対象魚種更新に伴うPR資材の更新を優先するため、「どんちっちブランド推進事業補助金」の実施を見送り、「山陰浜田港」PR補助金を拡充した。</p> <p>【主な経費・事業実績】</p> <p>○「山陰浜田港」PR補助金 [交付決定額：1,680,000円 ・ 執行額：1,658,322円] [交付先：浜田市水産業振興協会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会出店 (Sea 級グルメ全国大会 in 青森) ・山陰浜田港お魚検定(受検者：48名) ・PR資材作成(ポスター、ファッションバッグ、クリアファイル) ・商品開発支援 2件 <p>○「山陰浜田港」活性化補助金 [交付決定額：1,000,000円 ・ 執行額：949,492円] [交付先：浜田漁港周辺エリア活性化イベント実行委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Shimane×Italy PART5 ・山陰浜田港どんちっちアジ祭り 2025 ・出張学園祭 <p>○どんちっちノドグロ学校給食事業補助金 [交付決定額：760,000円 ・ 執行額：672,360円] [交付先：どんちっちノドグロ学校給食実行委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校、特別支援学校の最終学年の給食にノドグロを提供 <p>○イベントテント・ステージ撤去保管等 [執行額：814,000円]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまだお魚市場敷地内イベントテント及びステージの冬季期間中等における撤去、保管及び再設営等。 		

6 販路拡大及びPRについて

(1) 東京圏でのPR活動内容

豊洲市場大卸及び仲卸事業者を定期訪問し、「どんちっち」ブランドや「浜田港四季のお魚」に関する取扱いの依頼や意見交換等を行うほか、首都圏で開催されるイベントにおいて、「どんちっち三魚」を中心とした水産物及び水産加工品の販売などによるPRを実施。

(2) 令和8年度における新たな取組

産地・現場での交流等を通じ、商品価値に関する具体的なフィードバックを得て、「どんちっち」ブランド等の一層の商品価値向上を図るため、豊洲市場のバイヤーを招聘し、現場の視察や地元生産者等との意見交換を実施。

7 今後のブランド戦略について

市場関係者等からは、水産物の質はもとより、安定的な供給に関する要望も多く寄せられていることから、「どんちっち三魚」とともに、「浜田港四季のお魚」のPR事業と連携し、その認知度向上とともに、水産物の付加価値向上や消費拡大に努めていく。

8 将来展望について

水揚量の減少という厳しい局面においては、生産基盤の強化に加えて、ブランド化による単価向上も本市の水産業発展に不可欠である。

株式会社三陽の進出や、漁業協同組合 JF しまねが検討している冷凍冷蔵庫の整備といった、本市水産業を取り巻く環境の好機を捉え、水産関係者や関係機関と一体となって地域水産物のブランド力向上と消費拡大を図るための取組を加速させていく。

観光協会助成事業（事務事業評価）について

1. 基本情報

(1) 補助の現状

一般社団法人浜田市観光協会は「公益事業」と「収益事業」を実施しており、市は「公益事業」に対して「観光協会助成事業」として補助を実施しています。

なお、補助については「事業費補助」と「管理費補助」を行っており、「観光振興の投資」と「組織の維持運営支援」の両方の補助を行っています。

(2) 補助金の内訳

【令和 7 年度】

項目	充当額	備考
①事業費補助	17,265,659	
・観光案内事業	1,500,000	観光案内所運営事業
・観光客誘致促進事業	10,113,034	石州浜っ子まつり、三隅つつじウィーク、大平桜まつり、石見神楽関連助成事業、石見神楽機運醸成事業、周遊観光促進事業、外国人観光客誘致促進事業
・観光連携・宣伝事業	2,731,829	WEB等情報発信事業、広告宣伝営業活動事業、観光パンフレット作成
・観光客受入事業整備	2,920,796	国府海水浴場監視事業、観光ボランティアガイド助成事業、観光客受入助成事業、貸切バスツアー助成事業
②管理費補助	20,420,000	
・管理費	20,420,000	事務局運営経費（人件費含む）
合計	37,685,659	

※実施事業の参加者数等の推移は別紙のとおり

(3) 自主財源について

自主財源として「会費収入」「特産品販売収入」「石見神楽派遣事業収入」「レンタサイクル収入」「手荷物預かり収入」「観光支援型自動販売機手数料収入」があります。

（令和 7 年度実績：44,754 千円）

2. 事業成果

(1) 観光消費額（宿泊者）の推移 ※推計値

単位：百万円

令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
2,162	2,324	2,513	2,645

※積算方法：浜田市観光宿泊客延べ数 ×（県内・県外宿泊観光消費額単価の平均値）

※県内・県外宿泊観光消費額の平均値は島根県観光動態調査を基に積算

(2)情報発信(SNS・ホームページ)の閲覧数や反応

①SNS

Facebook、Instagram、Xで観光情報などを発信。

※令和8年5月末現在のフォロワー数

《浜田市観光協会》Facebook：4,719人、Instagram：4,789人、X：1,223人

《特産品販売所》Facebook：509人、Instagram：652人

②ホームページ

「はまナビ(浜田市観光協会公式サイト)」「石見神楽」「はまとく(特産品ネットショップ)」の3つのサイトで、観光情報などを発信しています。

区分	閲覧数(令和7年度)	反応
はまナビ	1,128,000件	年々アクセス数が増加しており、浜田市内のイベント情報、石見豊ヶ浦・浜田城跡・美又温泉などについての情報の閲覧が多い。
石見神楽	417,000件	週末夜神楽公演ページ、演目紹介についての閲覧が多い。
はまとく	69,000件	令和8年6月現在約3,300人の会員登録があり、浜田市の特産品のお取り寄せ、市内県外の石見神楽等各種公演のオンラインチケット販売などの需要がある。

3. 効率性・運営体制

(1)各事業の費用対効果と検証の実施状況

・観光客誘致促進事業「浜っ子夏まつり」

令和7年度の来場者数は10,000人であり、有料駐車場申込者440人のうち、市外申込者の割合は53.4%でした。市外来場者1人当たりの消費額を1,500円から2,000円と仮定した場合、観光消費額は約801万円から1,068万円と推計されます。これを市補助金額(充当額)650万円と比較すると、費用対効果は約1.2倍から1.6倍となり、市補助金額(充当額)の約1.2~1.6倍に相当する観光消費額が発生したものと推計されます。なお、当該事業は、観光消費による地域経済への波及効果に加え、地域文化の継承や市民交流の促進、郷土への愛着の醸成など、多面的な効果を有する事業であると考えます。

(2)外部委託の有無とその妥当性

浜田市観光協会の公式ホームページである「はまナビ」についてWEB制作管理を外部委託しています。このホームページは、浜田市の観光情報を効果的に発信する重要な媒体であり、利用者に分かりやすく情報を届けるためには、ウェブデザインや情報発信に関する専門的な知識や技術が必要となります。また、インターネットで観光情報を検索した際に見つけやすくする工夫や、利用状況の分析を行いながら継続的に改善していくことも求められます。

このため、専門事業者へ作成・管理業務を委託することは妥当であると考えます。

(3)人材育成・スキル向上の取組状況

①スモール・ビジネス育成支援プログラムの参加(商品販売関係：R6年度から継続)

②各種セミナー等へ参加(令和7年度：Instagram発信力強化セミナー他3件)

(4)デジタル活用の状況(SNS 以外)

- ①特産品販売所のキャッシュレス決済導入
- ②浜田の夜神楽週末公演のオンライン予約/事前決済の導入

4. 地域連携・波及効果

(1)地域事業者・地元住民との連携の状況(市民参加以外)

- ①市民団体の事務局として活動を支援（浜田市観光ボランティアガイドの会、駅鈴でつなぐ友好の会*浜田）
- ②特産品販売所、「はまとく」で地域事業者の商品のPR、販売

(2)他自治体や広域連携の取組

- ①松阪市、松阪市観光協会との連携
松阪市での石見神楽上演や氏郷まつりでの物販・浜田市PR活動実施、浜っ子春まつりにおける松阪市のPRブース出店、豪商のまち松阪観光交流センター（松阪市）における「浜田市と松阪市のご縁（パネル展示、特産品販売）」の開催（令和5・6年度）
- ②特産品販売所における特産品の相互販売（邑南町）

(3)地域資源(自然・文化)の活用状況(石見神楽以外)

- ①浜田大名行列奴：イベント開催（浜っ子春まつり）
- ②三隅大平桜：イベント開催（大平桜まつり）
- ③石見豊ヶ浦：観光PR動画作成（公式YOUTUBEで公開）
- ④国府海岸：海水浴場の開設
- ⑤浜田城跡：商品開発（御城印）
- ⑥ヨシタケコーヒー：商品開発（ヨシタケコーヒー入りキャンディー）

5. 課題・改善点

観光協会の職員体制について、事務事業量調査の結果、人員は概ね適正な範囲にあるものの、業務の遂行に当たり、一部の職員に事務や調整業務が集中する傾向が見られることから、組織内での役割分担や業務の平準化が課題であると考えます。

また、誘客や情報発信において市と観光協会の行う業務が重複する部分もあり、事業の整理も課題であると考えます。

6. 今後の方向性

観光協会助成事業は、観光客誘客や情報発信などを中心的に担う観光協会への補助であり、本市の観光振興を進める上で必要な事業であると考えます。

今後は、日帰り客については広島圏を中心とした誘客を推進するとともに、宿泊客については萩・石見空港の活用や石見神楽などの観光資源を活かし、関東圏及び関西圏をターゲットとした誘客に取り組みます。あわせて、市と観光協会の役割が重複する事業の整理・再構築を進め、組織基盤の充実と機能強化を図ることで、市と観光協会が一体となった持続的な観光推進体制の構築に取り組みます。

	実施事業 (補助金充当事業)	参加者等の推移					備考
		R3	R4	R5	R6	R7	
公益事業	(1)観光案内事業						
	①観光案内	2,963	3,036	3,098	8,292	7,336	件：R5年度まで案内所実績。R6年度から事務局実績も追加
	(2)観光客誘致促進事業						
	②浜っ子春まつり	-	-	2,000	300	3,000	人：R3.4はコロナ禍で収録のみ。R6は雨天によりパレードと楽市が中止。
	③浜っ子夏まつり	中止	4,000	15,000	17,000	10,000	人：R7は雨天により神楽中止、納涼夏踊りが途中で中止。花火は実施。
	④大平桜まつり	中止	中止	1,300	-	1,500	人：R6は開催なし
	⑤三隅つつじウィーク(旧つつじ祭り)	中止	中止	4,109	4,213	1,600	人：R6までは「つつじ祭り」として3日間開催、R7はマルシェ1日開催
	⑥石見神楽関連助成事業			2	1	2	件：石見神楽に関する事業に対して助成実施(石見神楽検定等)
	⑦石見神楽機運醸成事業				-	-	R6御堂筋ランウェイ出演等、R7は大坂・関西万博等で石見神楽上演PR実施
	⑧周遊観光促進事業		273	466	400		件：フォトコンテスト※R7は展示のみ
	⑨外国人観光客誘致促進事業			147	478	221	人：スタンプラリー
	⑩WEB等情報発信強化事業	1,073	1,621	1,336	1,533	1,614	千件：はまナビ、石見神楽、はまどくのアクセス件数の合計
	⑪広告宣伝営業活動事業	3	5	10	4	7	件：R7は「富岡八幡宮石見神楽上演」「松阪市氏郷祭り」他3件に参加
	⑫観光パンフレット作成費	30,000	30,000	35,000	35,000	35,000	部：ガイドマップ、はまごちリーフ、浜田城ガイドマップ等の作成部数
	(4)観光客受入整備事業						
	⑬国府海水浴場運営事業	12,500	19,300	20,500	18,800	13,500	人
⑭観光ボランティアガイド助成事業	45	46	42	25	29	ボランティアガイドの会へ助成を実施 件：ガイド予約件数	
⑮観光客受入助成事業	6	6	3	2	1	件：R7「浜田大名行列保存会」へ助成を実施	
⑯貸切バスツアーへの助成事業	20	32	10	30	16	件：旅行事業者の浜田市内宿泊を伴うバスツアーに助成を実施	

美又温泉の公募の状況、今後のスケジュールについて

1 美又温泉国民保養センター関係

(1) 令和 8 年 3 月 31 日 閉館

(2) 指定管理者撤収及び市所有備品移転等作業 4 月 1 日～6 月 7 日

(2) 解体工事 5 月 28 日契約

※にぎわい創出エリア（民間商業施設用地）から先行して解体を進め、9 月末に敷地が完成する見込み

2 サブコアエリア整備関係（駐車場・公衆トイレ・温泉スタンドほか）

(1) 駐車場整備工事 7 月 16 日入札予定

※にぎわい創出エリアの聖地等含む

(2) 公衆トイレ等建築工事 積算中

(3) サブコアエリア設備工事 積算中

※にぎわい創出エリアへの給排水工事含む

(4) サブコアエリア電気工事 積算中

※にぎわい創出エリアへの電気供給工事含む

3 にぎわい創出エリア（民間商業施設用地）の公募予定（案）

(1) 以下の事項について公募内容（仕様書）等の調整をしています

※事業用定期借地契約

※補助金と併せての審査

※美又温泉美肌観光拠点施設としての世界観の統一（意匠等）

※リスク分担等の調整

(2) 公募期間 令和 8 年 7 月中旬から 8 月下旬まで

(3) 民間事業者決定予定時期 令和 8 年 9 月上旬

※決定以降、民間事業者の計画とサブコアエリア整備計画との調整を進めていきます（給排水の具体的位置など）

(4) 民間事業者の整備期間（予測）

10 月から着手した場合、準備期間と併せて 6 カ月程度要すると予

測すると、開業は令和9年3月頃になると見込まれます。

※中東情勢等による原材料確保等の状況によって変わる可能性があります。

4 美又温泉うるるの整備状況について

(1) 建築関係 令和8年9月30日に完成する見込み

※サブコアエリアについては11月上旬までかかる見込みです。

(2) 備品関係 令和8年8月頃入札を行い、10月から設置予定

(3) オペレーション関係 設備の試運転を兼ねたプレオープンを11月初旬に行いたい

(4) 竣工式 令和8年11月26日を予定しています

※中東情勢等の影響を受け、事業費の増加も懸念しており、場合によっては補正や竣工式の延期なども検討せざるを得ない場合もあります。

5 にぎわい創出エリア（民間商業施設用地）完成までの対応

美又温泉うるる開業までの間、また、にぎわい創出エリア（民間商業施設用地）の開業までの間について、以下のとおり対応いたします。

(1) 既に取り組みを開始しているもの

ア 新規飲食店等

美又温泉エリアにおいて、ラーメン等の提供を行っていた事業者がカツカレーの提供を始めたほか、足湯正面の旧酒屋が雑貨店としてオープンし、軽食の提供を開始しました。

イ 美又温泉旅館組合の取組み

不定期ではありますが、定食の提供を2つの旅館で開始しています。

(2) 美又温泉うるる開業後に開始するもの

ア 美肌観光の周遊促進

デジタル技術を活用した美肌観光の推進のため開発した美肌パスポート（仮称）により飲食店等へ誘導します。

イ 指定管理者による自主事業

休日等を中心にキッチンカーなどの配置を行います。

6 その他

(1) 市民との協働について

ア 美又地域景観づくり住民協定

美又湯気の里自治協議会や美又温泉旅館組合によって花の植栽が行われる予定で場所や時期など調整しています。

イ NPO 法人浜田市に桜を育てる会

美又温泉エリアに 100 本の植樹を計画されており、地域住民参加型で令和 9 年 3 月に実施予定となっています。

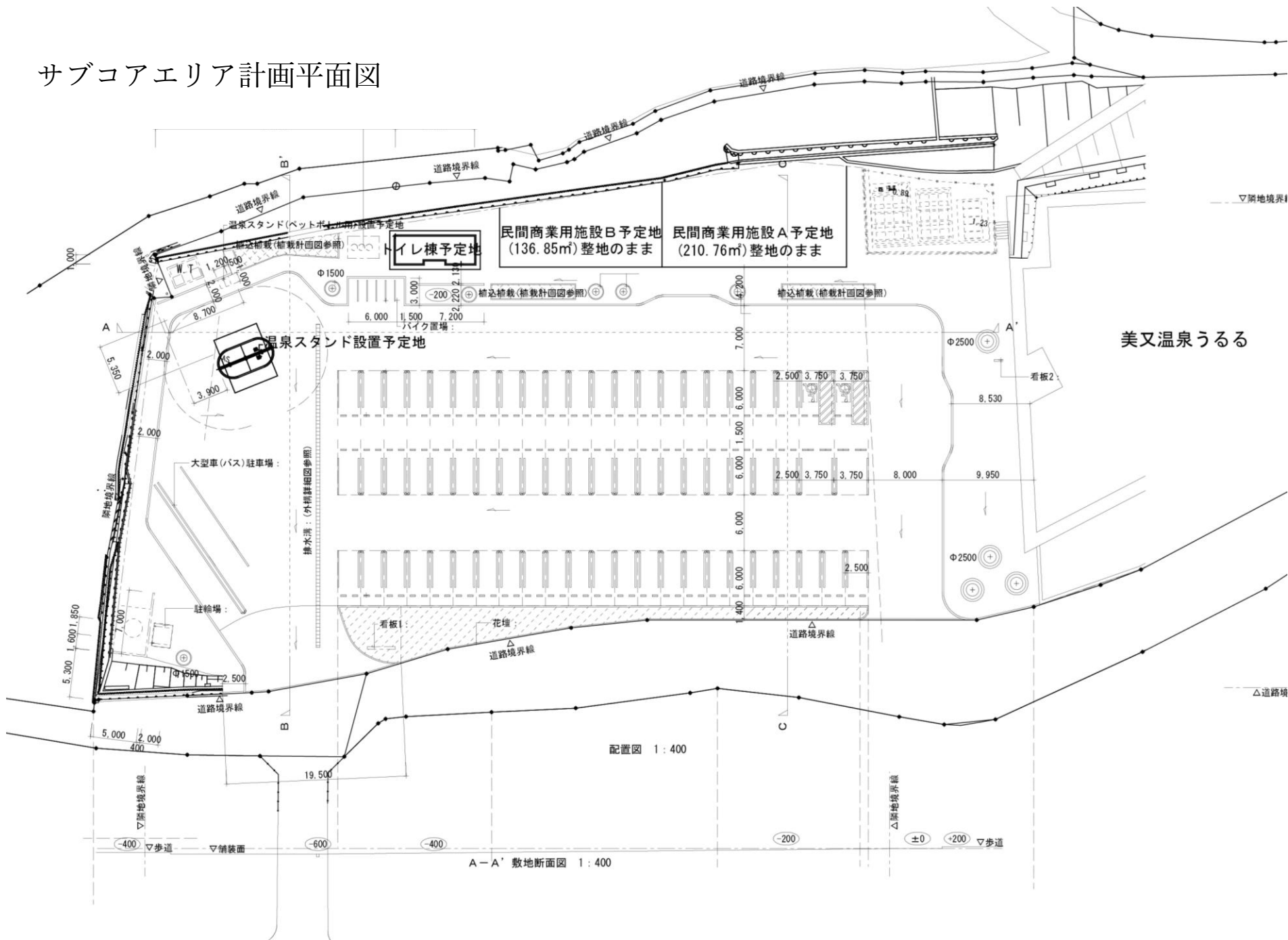
(2) 石央エリア周遊促進情報発信事業

石央商工会事業として美又温泉を起点とした地域内周遊と消費の促進のための事業を展開される予定です。

(3) 島根県立大学生との連携事業

島根県立大学生 6 名が美肌観光をテーマとして取り組みを開始される予定です。

サブコアエリア計画平面図



地域井戸端会の回答・報告

1 「100年先に残したい浜田の食」について

ボベ飯、鯖のいり焼き、おまん寿司、鯖寿司、角ずし、みりん干し、赤天、フキ、タケノコ、米、いちじく、ぶどう、手作り味噌、鮎、うなぎなど、浜田の海・山・川の恵みに支えられた多くの食が挙げられました。

多くの郷土食や地域産品が挙げられた一方で、それらを支える生産現場や担い手、自然環境を守らなければ、将来へ継承していくことは難しいという意見が出されました。産業建設委員会としては、浜田の食を守ることは、海・山・川の資源を守ることでありと受け止めています。今後も、海や山に関する事業をはじめ、地域の産業基盤を支える取組に力を入れ、浜田の食文化が100年先にも続くよう取り組んでまいります。

2 自由意見について

道路整備や支障木対策等の生活基盤に関する事、観光資源の活用、農林水産業の振興、地域活性化及び人口減少対策に関する事など、多岐にわたるご意見をいただきました。これらはいずれも、浜田市の将来に深く関わる重要な課題であると認識しております。産業建設委員会としては、インフラの維持管理と地域産業の振興、観光を通じた交流の拡大を大切な柱とし、引き続き調査・検討を進め、将来にわたり持続可能な浜田市の実現を目指すよう執行部に求めてまいります。

3 反省点、課題など

- ・地域的な枠組みは今のままでも良いと思うが、可能であれば町内会単位など、より細かな単位にアプローチしてみるのも一つの手だと感じた。
- ・自由意見を求める際、こちらから問いかけを工夫しないとなかなか意見が出こない場面もあったので、運営方法の検討の必要性を感じた。
- ・個人の意見が委員会の統一見解として独り歩きしてしまわないよう、発言の際の配慮が必要だと感じた。
- ・一般市民だけでなく、学校などを対象にした意見交換会があっても良いと思った。
- ・今回、開催日が重なりすぎていて、他の会場の様子を見に行くことが難しかったのが残念だった。
- ・27箇所すべてを回る現在の方式は、議員の負担も大きく、今後は「一定の人数が集まった段階で呼ばれて行く」といったオンデマンド型の開催も検討すべき時期に来ているのではないかと感じた。